

歯科医師の均てん化に向けて

塩本仁美 歯科医師

大変興味深いご講義を拝聴させていただきありがとうございました。

私は神奈川県横浜市で開業しております、歯科医師です。2016年卒業です。同期の何人かが先生の医院でお世話になっていたこともあり、先生から直接お話を伺う機会に感激しておりました。

私自身も、歯科医師として患者さんと対峙する際に、いつも思うことがあります。

「歯が弱かった」「歯医者に行ったらすぐ抜かれた」「家系で歯が悪い」「毎日磨いているのにむし歯になる」……。そういった言葉を聞くことが多いのです。

「そうじゃないのにな」という思いが積み重なり、対策を打つことにしました。

当院ではメンテナンスは、保険診療内で行うことのできるメンテナンス処置（保険SPT）で行っておりますので、限られた時間の中ではありますが、日本ヘルスケア歯科学会推奨のう蝕マネジメント指導（CRASP）を導入し、初診時、治療終了時、メンテナンス中は、う蝕リスクに応じて随時食生活指導・フッ化物指導を行って

おります。

嫌な顔をされることもしばしばですが、多くの方は「知らなかった知識を得ることができた」「今日から気をつけます」と言ってくださいます。

そんな患者さんたちを見ていて常々思うことは、こういった正しい知識がどうして広まっていないのだろうか？ということです。義務教育の時に習っていれば、知識として知っていれば、自分自身の行動を律することができますし、1歳半検診や3歳児検診で知識を広めておけば、子どもに対する食生活のあり方が崩れる人が減ると思うのです。

また、テレビ等々で正しい知識が普及し、誰もが同じ知識を正しく持つことができれば、むし歯や歯周病は減ると思います。

歯科医師に限っても、確かに数々のセミナーが行われていますが、それぞれのセミナーは有料で、新米歯科医師はどのセミナー、どの先生を信じて歯科医師人生を進めばいいのかわかりません。

その結果、それぞれの歯科医師が、好みの知識を身につけ、バラバラの治療方針を立てながら治療を行っているのが現状です。これでは、医療の質が均てん化することは不可能だと思います。

D X化が進み、施設基準登録の際に視聴すべきセミナー動画を配信できる時代が来ています。

今こそ、歯科医師の知識の均てん化をすべきではないかと、わたしは考えています。

例えば、日本歯科医師会の取りまとめである、日歯生涯研修セミナーのような動画視聴と確認テストがセットになったものを活用するのはいかがでしょうか。1年に1度、日本の歯科医師であるならば知っておかなければならない重要なトピックを盛り込んだ動画を配信し、その確認テストに合格することを義務づけする、などです。

そうすれば、日本全国の歯科医師が同じ知識を共有することが可能になり、日本の歯科医療の質が上がるのではないのでしょうか。

先生の医院のような素晴らしい医院を日本全国に増やすことこそが、日本のためになるとわたしは考えます。

そのために、この大学院で学んだことを活かし、できることをしていきたいと思っております。

今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。